公民館報 こもろ
No.920
令和８年 10 月号
発行 / 小諸市公民館
編集 / 館報編集委員会
〒 384-0801 長野県小諸市甲 1275-2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

春の桜に対して日本の秋を象徴する花となるのが菊です。

10 月になると懐古園を会場に東信菊花展が開催されます。愛好家が丹精込めて作り上げた菊の花が展示されます。

今年はどんな豪華な作品がみられるか楽しみです。







❖内容

p.21 「わたしの宝物」（菱野区　杉山和夫さん）ほか
p.22 ～ 23 【お知らせ】第 42 回公民館まつり
11 月開講公民館講座
p.24 「えんぴつリレー」（コスモス短歌会 手塚寿々枝さん）
p.25 「ぼくとわたしの作品」（坂の上小学校）ほか

カラー版はこちら

編集後記

私がワイナリーの技術者として小諸に転勤して来た頃の話です。仕事の中で最も神経を使う季節は９月から10月です。

夏の強い日差しを受けて育ったブドウは、房の色を深め、果粒に甘みを蓄えていく。見た目には、もう十分に実っているように見えます。

しかし、収穫の時期を決めることは、決して簡単ではありません。収穫時で大切なのは、糖度だけではなく、酸がどれだけ残っているか、pHがどんな値なのか、そしてこれからの天候がどう動くのか。その全てを見ながら、最良の１日を探っていく。分析値は状況を示してくれるが、数字だけでは決めきれないところがあります。

房を手に取り、粒を口に含む。皮の厚み、種の色、果汁の味わい、香りの出方。そうした手がかりを一つひとつ確かめ、良いワインになることだけを考えて収穫日を決めます。

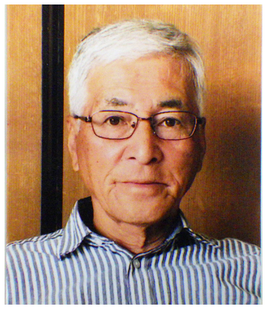
収穫とは、ただ実ったブドウを摘み取る作業ではありません。１年を通して畑と向き合い、枝を整え、葉を見守り、雨や暑さに気を配ってきた時間の全てを、ひとつの判断に結びつける瞬間です。秋の畑は、期待と不安が隣り合わせになっている現場です。

編集委員　中山正男

わたしの宝物

「水彩画を描く」

菱野区　杉山　和夫



広告代理店を60歳で定年退職。その後、市役所で約10年パートとして働いていた頃、何か一生の趣味になるもの「自分が好きなこと」を探し求めました。子どもの頃は絵を描くことに夢中で、小学生の時は図工の時間が好きでした。また、毎年開催されるこもろ動物園写生大会は楽しみでした。

〝水彩画を描きたい〟と思い立って小諸高原美術館のまなびのまち造形講座の洋画「基礎（水彩）」に入講して学びながら絵を楽しんでいます。３年後に講師から水彩画同好会・明水会（めいすいかい）への入会を薦められ、すぐに入会。約20名の会友と学ぶ姿勢を大切にしながら、それぞれの制作の向上を目指しています。明水会の活動の目的のひとつに小山敬三記念小諸公募展への出展を目指し、仲間の刺激や励ましを受けながら、50号の大作に毎年挑んでいます。

2024年に会友から信州ねんりんピック作品展があることを聞いて、昨年応募したら思いもよらず県知事賞に選ばれました。作品は、浅間山が見える畑の横に置かれた廃車のマイクロバスがある風景です。マイクロバスとしての役目を終えたバスが農作業時の休憩所や農具置場として第２の人生を過ごす姿が自分と重なり「頑張れよ！」と声を掛けたくなる風景でした。この絵は、2026年11月に埼玉県で開催されるねんりんピック（全国健康福祉祭）に県代表に選ばれた作品として展示されます。

今後も、子どもの頃の情景を思い起こさせる郷愁ただよう四季の変化が美しい身近な風景や人々の暮らしが感じられるような絵を描いていきたいと思います。



「浅間山を望む廃車のある風景」



『ねんりんピック』とは？

全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）は、スポーツや文化種目の交流大会を始め、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、厚生省創立50周年に当たる昭和63（1988）年から毎年開催されています。

（厚生労働省ホームページ「全国健康福祉祭（ねんりんピック）の概要」より引用）

第１回「小春日朗読会のお誘い」

小諸・藤村文学賞の入賞作品の中から選んだエッセイの名品を朗読でお楽しみください。



■テーマ　『日常こそ　奇跡』
■日　時　11/ 1 (日)　開演 14：00（開場 13：30）
■会　場　市民交流センター　第１・２・３会議室
■朗読者　池田真弓さん・市川　強さん・中村峻司さん ほか
■問合先　小諸市教育委員会 小諸・藤村文学賞事務局　0267-22-1700（代表）

入場無料

■小諸もろもろ塾（体験・実演コーナー）

体＝体験　実＝実演　(持)＝持ち物あり

※都合により時間等変更になる場合があります。



10日(土)

体 体幹＋フローヨガ 定員８名
●9:30～10:45 (持)ヨガマット、飲み物



体 手作りクラフト 定員20名
●9:30～12:00 ●材料費 100円

体 生き生きヨーガ 定員５名
●10:00～11:15 (持)ヨガマット、飲み物



体 ピラティス 定員10名
●11:00～12:00 (持)ヨガマットorバスタオル、飲み物

体 太極拳 定員５名
●11:30～12:30 (持)ヨガマット（持っている人）、飲み物



体 マジック 定員16名
●13:00～15:00 ●材料費 500円

実 オカリナ 申込不要
●13:30～14:15

11日(日)

体 そば打ち 定員12名
●10:00～12:00 ●材料費1,300円
(持)エプロン、三角巾、持帰り容器



体 スポーツウエルネス吹矢 申込不要
●10:00～12:00

体 大正琴 定員10名
●10:30～12:00

体 親子工作 定員10名
●9:00～15:00 ●材料費 200円

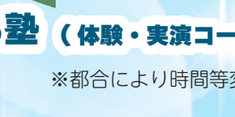
両日

体 手ぶらでテニス体験＆ゲーム 定員各日40名
●10日(土)9:30～14:00 (持)運動のできる服装
●11日(日)9:00～14:00
会場：こうりょうスポーツパーク小諸（乙女湖公園内テニスコート）



■昭和の小諸 写真展示コーナー

懐かしい昭和の小諸の風景や人々の暮らしを写真で紹介します。



■お楽しみコーナー

マルシェ（ホワイエ）



パン、お菓子、ハンドメイド、占いなど

キッチンカー（ロータリー）



クレープ、軽食など

サービス（ロータリー）



ポップコーン、綿あめ（無料）



会場内のミッションを解いてプレゼントをもらっちゃおう☆
楽しくまわって、みんなでチャレンジしてね！



写真撮影について　当日の写真を撮影し、公民館報12月号で特集します。
ホームページ等に掲載する場合がありますのであらかじめご了承ください。

11月開講公民館講座

申込みは、窓口・電話(9:00～17:00)・ながの電子申請（小諸市ＨＰ）。
圓小諸市文化センター　0267-23-8880

初心者歓迎そば打ち【全5回】

そば打ちをマスターして年越しそばを打とう
講　師：小諸麺棒会　小山晴夫さん ほか
◇日　時　11/28(土)・12/5(土)・13(日)・19(土)・26(土)　10：00～12：00
◇場　所　陶芸木工室　◇定　員　12名　◇費　用　1回1,000円
◇持ち物　エプロン、三角巾、そば持ち帰り容器
◆申　込　10/28(水)～11/11(水)



申込みはコチラ

内容に関するお問い合わせは E-mail でも受付けています。✉ bunka @ city.komoro.nagano.jp

第42回 小諸市公民館まつり

会場：小諸市文化センターほか　10/10(土) 9:00～16:00　11(日) 9:00～15:00







■ホール

※都合により時間等変更になる場合があります。

10日(土)

開会式 9:00(開場 8:50)　開演 13:00(開場 12:50)

	順	団体名	部門
午前の部	1	水明小学校	吹奏楽
	2	小諸東中学校	吹奏楽
	3	ほほえみマジック	マジック
	4	楽団ふたり	トランペット
	5	いろはの会（フラマプアナ）	フラダンス
	6	フラ・プアナニ糠塚	フラダンス
	7	フラ・プルメリアこもろ	フラダンス
	8	小諸太極拳同好会	太極拳

	順	団体名	部門
午後の部	1	こもろ銭太鼓	銭太鼓
	2	小諸馬子唄保存会	民謡
	3	Kパフォーミングアーツ キッズ	ダンス
	4	Kパフォーミングアーツ ジュニア	ダンス
	5	のぞみ会	舞踊
	6	めぐみ会	舞踊
	7	さくら会	舞踊
	8	若柳会	舞踊
	9	アロハつばき	フラダンス

11日(日)

開演 10:00(開場 9:50)　開演 13:00(開場 12:50)

	順	団体名	部門
午前の部	1	さくらんぼ	大正琴
	2	コモ☆レレ	ウクレレ
	3	芦原中学校	吹奏楽

	順	団体名	部門
午後の部	1	若羽好扇社中	舞踊
	2	ストリートダンサーズ	ダンス
	3	土屋芳美ジャズダンス教室（子ども）	ダンス
	4	土屋芳美ジャズダンス教室（大人）	ダンス

■作品展示

団体名	ジャンル	団体名	ジャンル	団体名	ジャンル
小諸美術会	美術	紙バンドあみあみ	手芸	和田書道教室	書道
小諸木彫同好会		フォーパッチの会		ニコニコパソコン	パソコンの作品
墨志教室		和田くるみの会		高濱虚子記念館	俳句
花ゆめ倶楽部	園芸	フォトクラブすみれ	写真	こもろシニア教室	川柳・絵手紙・写真・ドライフラワーリース
釉荻会（ゆうびかい）	陶芸	小諸市日中友好協会		女性学級	手芸

えんぴつリレー

No. 186

「暮らしのかけらを歌に」

コスモス短歌会　小諸歌会
手塚　寿々枝

短歌は、自分や家族友人、雄大な自然、形のない風や光や雲や音、日常茶飯事、喜怒哀楽、森羅万象、目に映るすべて心に浮かぶ様々、なんでも歌になります。自分の五感を活かして〝五・七・五・七・七＝三十一文字（みそひともじ）〟にあらわします。紙と鉛筆と辞書があればいつでも誰でもできます。きっと今までになかった新鮮な発見・発想が培われ、豊かな日々になります。

私は、コスモス短歌会の小諸歌会に参加しています。コスモス短歌会は短歌の結社名です。１９５３年、歌人の宮柊二により創立されました。北原白秋の『多磨』の流れを汲む会です。現在は高野公彦を編集人とし月刊短歌会『コスモス』を発行しています。会員は２千人余り、北海道から沖縄まで86の支部、また海外にも支部があり、小諸歌会もそのひとつです。

特徴としては古典の和歌の素養・伝統を踏まえ日常生活に根ざした歌を皆で研磨しあっています。

創設者の宮柊二は、歌は『生の証明』、生き様であると言い続けてきました。創刊以来70余年途切れることなく歩みを続けて現在に至っています。

小諸歌会は、現在10名の会員がおります。月に１回、第２水曜日午後１時半から本町にある『ほんまち町屋館』の１室で歌会を開いています。１か月に２首を投稿し、その作品について皆で批評しあっています。

短歌を詠んでみたい、ちょっと勉強してみたいと思われるみなさん、我々といっしょに一歩踏み出してみませんか。日本人古来からのＤＮＡを呼び覚まして皆で楽しんでみましょう。



初心者、また年齢問わず老若男女すべての方大歓迎です。『ほんまち町屋館』へ直接お越しください。





折々のうた

●うつりゆく時間は疾き風
　SooNSooNと
　過ぎて野菊もかの人もなし
●「そのヒアスめっちゃいいですね」
　自作です。
　「えーカッケエ」とレジの女はも
●私をまだ必要としてくれる
　人らのありて茅の輪くぐりす
●炎天を避けて長けたる草をひく
　風とすずめとねこに目守られ
　手塚寿々枝
●起きぬけを東方にむき胸いっぱい
　冷気とりこむ時が始動す
●秋ふかみスタンドの灯のやはらかし
　今宵は柊二の秀歌に会はむ
●アマゾンの利用確認とのメール
　開く寸前待てよ待て待て
　中村糸子

※小諸歌会で市内にお住いの方の作品です。

ぼくとわたしの作品

No. 388







「児童会で頑張っていること」

6年1組　小林（こばやし）　蒼士（あおし）

今年度の児童会のスローガンは「つながる心ひろがるえがお」です。そのために、児童会では、学年をこえて交流できる活動を増やしています。

その１つが、今年初めて行った全校七夕飾りです。児童会本部で「みんなの心がつながるように」と考えて企画しました。全校のみんなに願い事を書いた短冊や七夕飾りをつけてもらうと、立ち止まって他学年の短冊を読んでいる人もたくさんいました。低学年のみんなが「きれいだね」とうれしそうにしている様子を見て、やってよかったと思いました。



また、今年はたてわり班の活動にも力を入れています。６年生は事前に準備をしたり、一人ひとりが班長になって活動を進めたりして、みんなが楽しめるように工夫しています。準備は大変で、少し面倒だなと思うときもありますが、低学年が楽しそうに遊んでいる姿を見ると、僕たち６年生もうれしくなります。

２学期にも、全校が楽しめる活動をたくさん計画しています。僕が児童会長を終えるころには、全校が仲良くなり、「学校が楽しい」と思える人が増えていたらいいなと思います。６年生みんなで頑張ります。



「雨の音」

6年2組　柳澤（やなぎさわ）　実杜（みと）

この絵は、「小さいしずくと大きいしずくの雨の音」を思いうかべてかきました。雨の日に外を見ると、小さいしずくもあるし、大きいしずくもあります。音も少しずつちがうと思ったので、そのちがいを絵で表したいと思いました。

雨の音は聞こえるけど見えないので、どんなふうにかけば雨の音に見えるかなと考えながらかきました。

青色は、雨のしずくの色です。雨の音を思いうかべたら青色が出てきたので、たくさん使いました。

水色は、しずくがすき通っている感じです。光があたると少し光って見えることもあるので、その感じも出したいと思って使いました。

緑色は、青色に少しにていて、ちがう色でも雨を表せるかなと思って入れました。

白色は、「ぽちゃん」と雨が地面に落ちる音です。しずくが光ってつやつやしている感じにも見えるように白色を使いました。

最初はどうやってかけばいいか少しむずかしかったけど、自分が思いうかべた雨の音を、最後まで楽しくかくことができたのでよかったです。



10/1 ㈭ 施設予約開始

※ 予約はオンラインのみ。事前利用者登録が必要です。

施設名	利用月	施設名	利用月
公　民　館	令和８年12月	文 化 会 館	令和９年10月